

漢方は、畑から。

「漢方薬の原料として良い生薬（しょうやく）をたくさん収穫できたときは、人のためになっていることを実感できて、とても達成感があります。」

そう語るのには、岩手薬草生産組合の組合長、

岩井マイ子さん（写真左から2番目）。

生薬とは、漢方薬を構成する原料のことで、そのほとんどが畑で大切に育てられた植物からできています。草取りは、主に手作業。

抜いても抜いても生えてくる雑草を地面を這うようにして取り除きます。

「手間をかければかけただけ、薬草は応えてくれるんです。」

「大変だけど、人の健康を支えるものだから。」

これは、生薬栽培に関わるみなさんの共通の想いです。

そして私たちツムラの想いでもあります。

漢方薬の需要が年々増え続けている中で、

患者さんのもとへ安定的に届け続けるために

農業の段階から一緒に栽培し

徹底的に品質管理を行っています。

漢方薬は、畑で育まれた「いのち」から生まれる薬。

お届けするまでに時間も時間もかかる、自然の恵みです。

どんなに時代が変わっても、技術が進んでも、

私たちツムラは「品質は畑から」という原則を守り続け、

漢方薬を必要としているすべての人の健康を支えています。



（写真左から）岩手薬草生産組合の府倉秀一さん

岩井マイ子さん、岩崎廣巳さん、三浦正樹さん、4月21日撮影

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。 